

目次

はじめに	3
このマニュアルの表記	3
商標および著作権について	4
第 1 章 お使いになる前に	
1 特長	6
指紋認証の特長	6
本パソコンでできること	6
2 使用上のご注意	9
指紋センサーに関するご注意	9
指紋登録時、照合時のご注意	9
指紋センサーの清掃について	10
3 指のスライドのさせ方	11
第 2 章 指紋を登録する	
1 既存ユーザーの指紋を登録する	14
Windows のログオンパスワードを設定する	14
指紋を登録する	17
2 新規にユーザーを登録する	21
第 3 章 指紋認証で Windows にログオンする	
1 指紋認証で Windows にログオンする	24
第 4 章 指紋認証でホームページにログインする	
1 ホームページのログイン情報を登録する	26
ホームページ上でログイン情報を登録する	26
パスワードウィザードでログイン情報を登録する	30
2 指紋認証でホームページにログインする	36
第 5 章 登録情報を管理する	
1 「OmniPass コントロールセンター」について	38
「OmniPass コントロールセンター」の起動方法	38
パスワードの管理	39
ユーザー設定の変更	41
システム設定の変更	42
登録ウィザードの実行	42

2 指紋認証の登録情報を変更する	44
指紋認証の登録情報の構成	44
指紋認証の登録情報を変更する	45
指紋認証の登録情報を削除する	45
指紋認証の情報を登録する	47
指紋を追加登録する	47
3 ホームページのログイン情報を管理する	50
4 登録情報のバックアップ／読み込み	52
登録情報をバックアップする	52
バックアップした登録情報を読み込む	55

第6章 困ったときには

1 困ったときには	60
指紋認証全般	60
Windows ログオン時	61
ユーザー登録時	62
ホームページのログイン情報登録時	63
ホームページでのログイン時	63
2 ソフトウェアのアンインストール／再インストールについて ..	64
OmniPass をアンインストールする	64
OmniPass をインストールする	65

はじめに

このたびは弊社の FMV バリュースリーズをご購入いただき、誠にありがとうございます。このマニュアルは、本パソコンに内蔵された指紋センサーの基本的な取り扱い、および指紋センサーをお使いになるためのソフトウェアのインストール、設定と使い方について説明しています。

お使いになる前に、このマニュアル、およびパソコン本体のマニュアルをよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いいたします。

2007 年 1 月

■ 指紋認証について

- 指紋認証機能は完全な認証照合を保証するものではありません。弊社は、お客様が指紋認証機能を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関しても、一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

このマニュアルの表記

■ 本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
 重要	お使いになる際の注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
 POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページや参照マニュアルを示しています。

■ キーの表記と操作方法

本文中のキーの表記は、キーボードに書かれているすべての文字を記述するのではなく、説明に必要な文字を次のように記述しています。

例：【Ctrl】キー、【Enter】キー、【→】キーなど

また、複数のキーを同時に押す場合には、次のように「+」でつないで表記しています。

例：【Ctrl】 + 【F3】 キー、【Shift】 + 【↑】 キーなど

■ コマンド入力（キー入力）

本文中では、コマンド入力を次のように表記しています。

```
diskcopy a: a:
      ↑ ↑
```

- ↑の箇所のように文字間隔を空けて表記している部分は、【Space】キーを 1 回押してください。

また、上記のようなコマンド入力を英小文字で表記していますが、英大文字で入力してもかまいません。

指紋センサーをお使いになる方へ

- ・ CD/DVD ドライブなどのドライブ名を、[CD/DVD ドライブ] で表記しています。入力の際は、お使いの環境に合わせて、ドライブ名を入力してください。

例：[CD/DVD ドライブ] :%setup. exe

■ 連続する操作の表記

本文中の操作手順において、連続する操作手順を、「→」でつなげて記述しています。

例：「スタート」ボタンをクリックし、「すべてのプログラム」をポイントし、「アクセサリ」をクリックする操作

↓

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」の順にクリックします。

■ 画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種や OS、Web ブラウザなどの環境によって、画面およびイラストが若干異なることがあります。

■ 製品の呼び方

本文中の製品名称を、次のように略して表記します。

製品名称	本文中の表記
FMV バリュースシリーズ ノートパソコン	パソコン本体／本パソコン
Windows Vista™ Business	Windows
指紋認証ユーティリティ Softex OmniPass	OmniPass

商標および著作権について

Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright© FUJITSU LIMITED 2007

1

第1章

お使いになる前に

この章では、指紋センサーをお使いになるための注意事項や基本的な取り扱い方について説明しています。

1 特長	6
2 使用上のご注意	9
3 指のスライドのさせ方	11

1 特長

指紋認証の特長

指紋認証では、人により異なる特徴を持つ「指紋」を指紋センサーで読み取って認証を行います。

生体情報を使うため忘却や盗難（盗み見）といった危険が少なく、指をスライドさせるだけで安全かつ簡単に認証を行うことができます。

本パソコンでできること

本パソコンには、指紋認証ユーティリティ **OmniPass** があらかじめインストールされています。**OmniPass** と本パソコンに内蔵の指紋センサーを使用して、次のような場面で指紋認証を使用することができます。

■ Windows のログオン

Windows のユーザーアカウントにログオンパスワードを設定しておく、そのパスワードを知っている人以外はそのアカウントで Windows にログオンすることができなくなり不正利用の防止に役立ちます。しかしこの場合、Windows にログオンするたびにパスワードの入力をしなければなりません。

指紋認証を使えば、あらかじめ登録した指紋を認証させるだけで Windows にログオンすることができるので、セキュリティを確保しつつパスワードの入力を省略することができます。

■スリープや休止状態からの復帰

スリープや休止状態からパソコンが復帰するときにパスワードを設定しておくセキュリティの向上に役立ちますが、パソコンがスリープや休止状態から復帰するたびにパスワードの入力をしなければなりません。

指紋認証を使えば、あらかじめ登録した指紋を認証させるだけでスリープや休止状態からの復帰が完了するので、セキュリティを確保しつつパスワードの入力を省略することができます。



登録した指紋を認証させるだけで、Windows にログオンしたり、省電力状態から復帰したりすることができます。

パスワードを入力する必要はありません。

■ID（ユーザー名）やパスワードを必要とするホームページへのログイン

セキュリティが設定されたホームページにログインするために、ID（ユーザー名）やパスワードなどのログイン情報を入力しなければならない場合があります。

指紋認証を使えば、特定のホームページに対してあらかじめログイン情報を記憶させておくことにより、指紋センサーに指をスライドさせるだけでこれらのホームページにログインすることができます。

ログイン情報を入力する状況はホームページごとに異なり、ログイン情報をホームページ内に直接入力する場合と、入力専用の画面が表示される場合があります。どちらの場合でも指紋認証によるログインを行うことができます。

例) ホームページに直接入力する場合



例) ログイン情報の入力専用画面



ID（ユーザー名）やパスワードを入力しなくても、指紋認証をするだけでログインすることができます。

■パスワードが設定されたスクリーンセーバーの解除

スクリーンセーバーを解除する時にパスワードを設定しておくセキュリティの向上に役立ちますが、スクリーンセーバーを解除するたびにパスワードの入力をしなければなりません。

指紋認証を使えば、あらかじめ登録した指紋を認証させるだけでスクリーンセーバーを解除できるので、セキュリティを確保しつつパスワードの入力を省略することができます。

2 使用上のご注意

ここでは、指紋認証をお使いになる上で注意していただきたいことについて説明しています。

指紋センサーに関するご注意

- ・ 次のような場合は、故障および破損の原因となることがあります。
 - 指紋センサー表面をひっかいたり、先のとがったものでつついたりした場合
 - 指紋センサー表面を爪や硬いもので強く擦り、センサー表面にキズが入った場合
 - 泥などで汚れた手で指紋センサーに触れ、細かい異物などでセンサー表面にキズが入ったり、表面が汚れたりした場合
 - 指紋センサーのセンサー部にシールを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりした場合
- ・ 指紋センサーに指を置く前に金属に手を触れるなどして、静電気を取り除いてください。静電気が故障の原因となる場合があります。冬期など乾燥する時期は特にご注意ください。

指紋登録時、照合時のご注意

- ・ 本機能は指紋画像の特徴情報を認証するものです。このため、お客様によっては指紋の特徴情報が少なく、登録操作ができない場合があります。
- ・ 指紋の登録には同一の指で最低3回の読み取りが必要です。異なる指で登録を行うと、認証できない場合があります。
- ・ 指の状態が次のような場合は、指紋の登録が困難になったり、認証率（正しく指をスライドさせた際に指紋が認証される割合）が低下することがあります。なお、手を洗う、手を拭く、認証する指を変える、手荒れや乾いている場合はクリームを塗るなど、お客様の指の状態に合わせて対処することで、認証時の状況が改善されることがあります。
 - お風呂上がりなどで指がふやけている場合
 - 指に汗や脂が多く、指紋の間が埋まっている場合
 - 手が荒れたり、指に損傷（切傷、ただれなど）を負っている場合
 - 手が極端に乾燥していたり、乾燥肌の場合
 - 指が泥や油などで汚れている場合
 - 太ったり、やせたりして指紋が変化した場合
 - 磨耗して指紋が薄くなった場合
 - 指紋登録時に比べ、指紋認証時の指の表面状態が極端に異なる場合
 - 濡れたり、汗をかいたりしている場合
- ・ センサー表面が濡れていたり結露していたりすると、誤作動の原因となります。柔らかい布で水分を取り除いてからご使用ください。
- ・ 認証率はお客様の使用状況により異なります。
- ・ 各指で指紋が異なりますので、必ず登録を行った指で認証の操作を行ってください。
- ・ 指紋が正常に読み取れなかったときや、一定時間内に認証されなかったときは、警告メッセージが表示されます。

指紋センサーの清掃について

- ・ 次のような場合は、指紋の読み取りが困難になったり、認証率が低下したりすることがあります。指紋センサー表面はときどき清掃してください。
 - 指紋センサー表面がほこりや皮脂などで汚れている
 - 指紋センサー表面に汗などの水分が付着している
 - 指紋センサー表面が結露している
- ・ 指紋の登録失敗や認証失敗が頻発する場合は、指紋センサー表面の清掃を行ってください。現象が改善されることがあります。
- ・ 指紋センサーを清掃するには、メガネ拭きなどの乾いたやわらかい布でセンサー表面の汚れを軽く拭き取ってください。
- ・ 長期間使用することにより、センサー周辺にゴミがたまることがあります。先のとがったもので取り除かないようにしてください。

3 指のスライドのさせ方

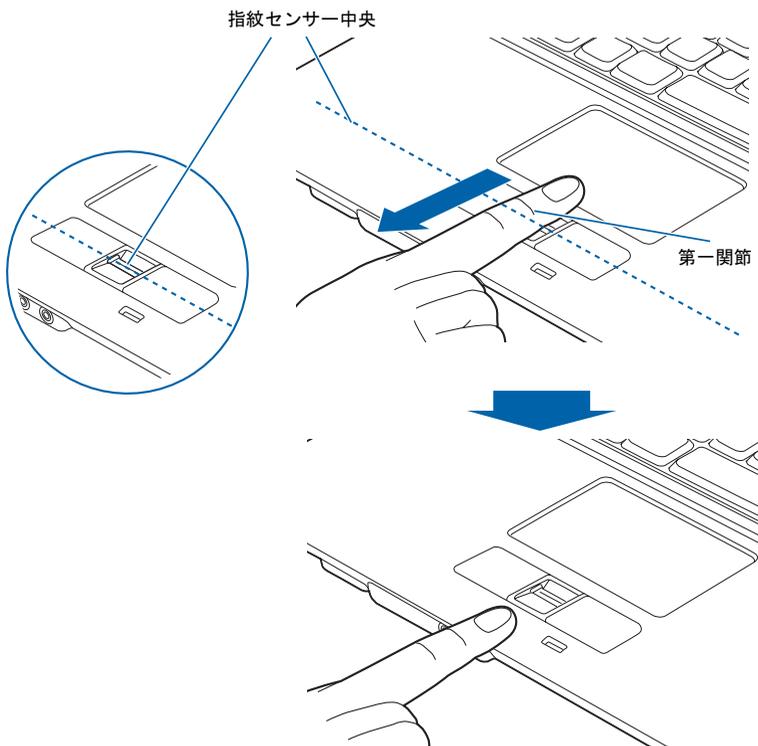
1

指紋の登録や認証を行う場合は、次のように指をスライドさせてください。認証の失敗を減らすことができます。

- 1 操作する指の第一関節が、指紋センサーの中央部に当たるように準備します。第一関節より先の部分が読み取り範囲となります。



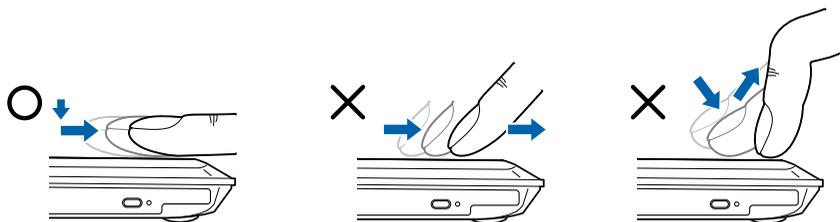
- 2 指をまっすぐ伸ばして第一関節を指紋センサーに軽く当て、手全体を手前に引くようにしてセンサー部が完全に見えるまで水平にスライドさせます。



(イラストは機種や状況により異なります)

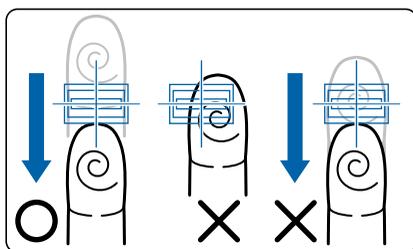
重要

- ▶ 指を突き立てたり、引っかけるようにスライドさせないでください
指紋センサーに指のはら（指紋の中心部）が接触していなかったり、指を引っかけるようにスライドさせると指紋の読み取りがうまくいかない場合があります。
必ず、指のはら（指紋の中心部）が指紋センサーに接触するようにスライドさせてください。



（イラストは機種や状況により異なります）

- ▶ うまく認識されないときは
次の点に気を付けて操作してください。
 - ・ 指の第一関節より先の部分が、指紋センサー上を通過するようにする
 - ・ 指紋の渦の中心が、指紋センサーの中心を通過するようにする
 - ・ 1秒程度で通過するくらいの速さで、スーッと動かす



なお、親指など、指紋の渦の中心を合わせにくい指は、うまく認識できないことがあります。その際は、中心を通過させやすい指を登録してください。

- ▶ 指紋の読み取りがうまくいかない場合
指紋センサーに指をスライドさせるときは、必ず指紋の入力画面の表示を確認し、指紋の入力が可能な状態になってから行ってください。指紋の入力画面が表示される前から指を指紋センサーに置くと、指紋の認証に失敗する場合があります。
また、指のスライドが速すぎたり遅すぎたりした場合にも、正常に認識できないことがあります。画面のメッセージに従って、スライドの速さを調節してください。

2

第2章

指紋を登録する

この章では、指紋認証をお使いになるための指紋の登録方法について説明しています。

1 既存ユーザーの指紋を登録する	14
2 新規にユーザーを登録する	21

1 既存ユーザーの指紋を登録する

Windows のログオンパスワードを設定する

指紋認証を使用するには、使用する Windows アカウントにログオンパスワードが設定されている必要があります。現在のアカウントにログオンパスワードが設定されていない場合は、以下の手順でログオンパスワードを設定してください。

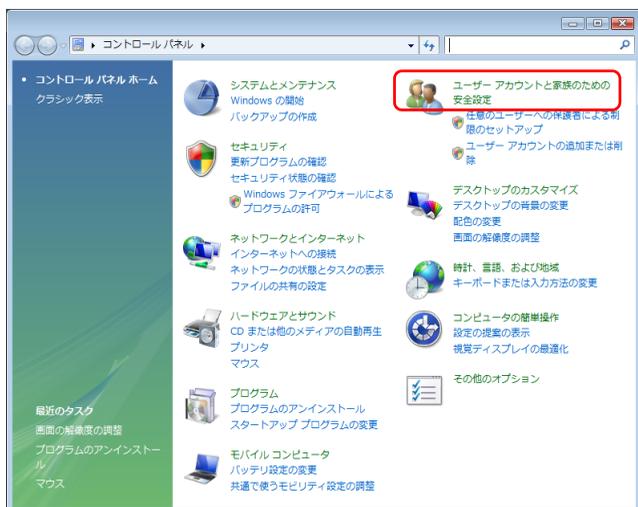
重要

▶ Windows のユーザー名は変更しないでください。

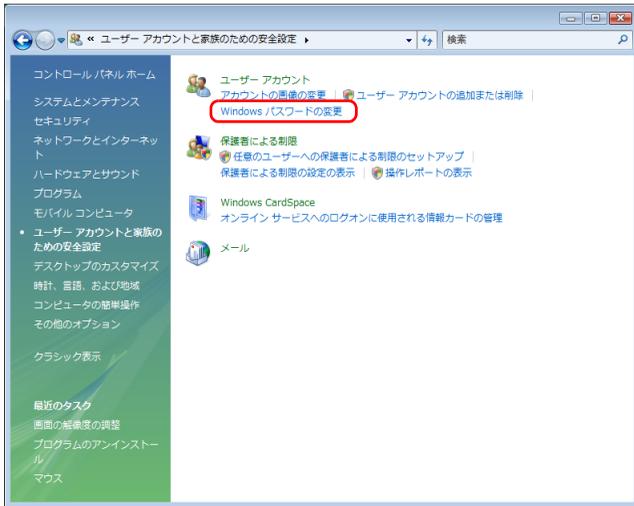
ユーザー名を変更すると、そのユーザーで指紋認証を利用できなくなります。変更してしまった場合は、Windows のユーザー名を変更前のユーザー名に戻してからご使用ください。

1 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」の順にクリックします。

2 「ユーザーアカウントと家族のための安全設定」をクリックします。

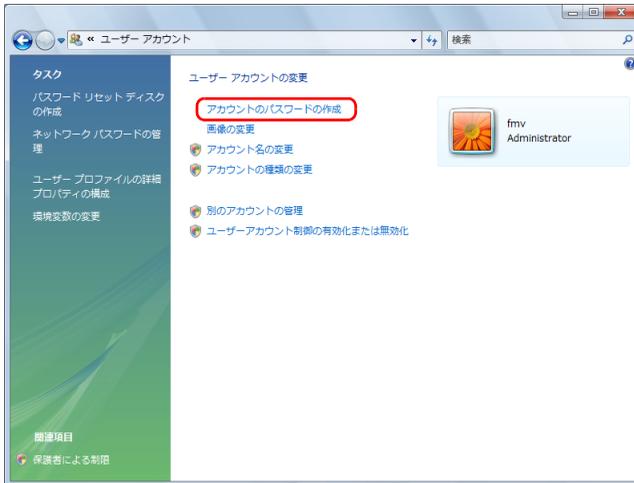


3 「ユーザーアカウント」の「Windowsパスワードの変更」をクリックします。



2

4 「アカウントのパスワードの作成」をクリックします。



5 ログオンパスワードを入力します。

ログオンパスワードは確認のため、2回入力します。



POINT

- ▶ ログオンパスワードを設定するとき「パスワードのヒント」も入力しておくことをお勧めします。ログオンパスワードを忘れたときに、思い出するためのヒントになります。このヒントは、誰にでも見ることができますので、自分だけに通用するヒントにしてください。
例：ログオンパスワードが「hawaii」の場合、ヒント「2回目の海外旅行」など
- ▶ 設定したログオンパスワードを忘れるとそのユーザーアカウントを使用できなくなるので、ご注意ください。

6 「パスワードの作成」をクリックします。

「パスワード」が設定されました。

7 開いているウィンドウを閉じます。

指紋を登録する

重要

- ▶ 指紋を登録する前に、必ず Windows のログオンパスワードを設定しておいてください。ログオンパスワードの設定方法については、「Windows のログオンパスワードを設定する」(→ P.14)をご覧ください。

2

1 指紋を登録したいユーザーで Windows にログオンします。

POINT

- ▶ 画面上部に指紋認証の画面が表示されますが、この段階では指紋が登録されていないため指紋センサーに指をスライドさせても Windows にログオンすることはできません。▼ をクリックして「マスターパスワード認証」を選択し、ユーザー名とパスワードでログオンしてください。

2 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Softex」→「OmniPass 登録ウィザード」の順にクリックします。

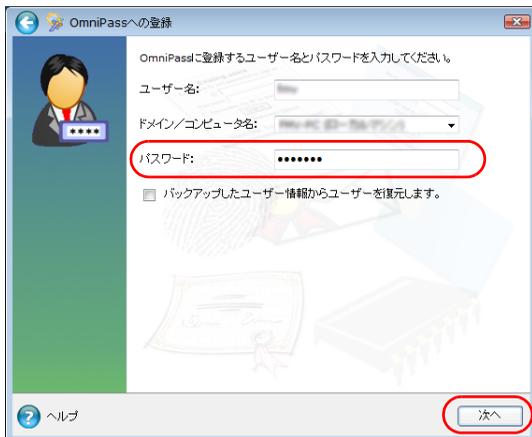
3 「既存の Windows ユーザーの登録」をクリックします。



(画面は状況により異なります)

4 Windows にログオンするときと同じパスワードを「パスワード」に入力し、「次へ」をクリックします。

「ユーザー名」に現在ログオンしているユーザー名が表示されていることを確認してください。



5 認証で使用する指をイラストで選択し、「次へ」をクリックします。



POINT

▶「練習」ボタンについて

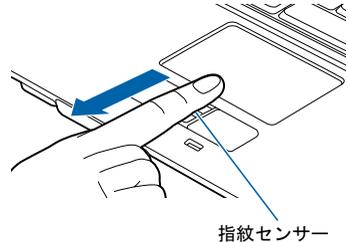
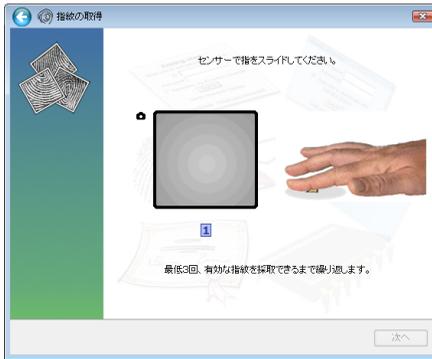
この画面にある「練習」ボタンをクリックすると、指紋登録の練習をすることができます。指紋を登録する前に指紋の読み取りを練習されることをお勧めします。

👉 または「完了」ボタンをクリックすると、指紋を登録する画面に戻ります。

6 指紋センサーに指をスライドさせ、指紋の採取を行います。画面の表示にしたがって指紋の読み取りを行ってください。

指紋が正常に読み取れた場合にはイラストが緑色に、読み取れなかった場合にはイラストが赤色に表示されます。

指紋の採取は最低 3 回行います。指紋を識別するのに十分な情報が採取できたら、「指紋の確認」ウィンドウが表示されます。



(画面やイラストは、機種や状況により異なります)

POINT

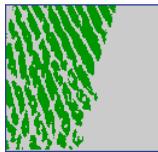
▶ 指紋は正しく登録してください

指紋の登録が正常に完了しても、不完全な状態で読み取った指紋を登録してしまうと、実際に運用する際の認証率が悪くなってしまう場合があります。指紋を登録するときの認証は、できるだけ次の条件を満たすように行ってください。

- ・読み取り領域の全体に指紋が読み取られている
- ・指紋の渦が画像の中に含まれている
- ・指紋の各方向の線がまんべんなく含まれている



良い例



悪い例

▶ 指紋の読み取りがうまくいかない場合

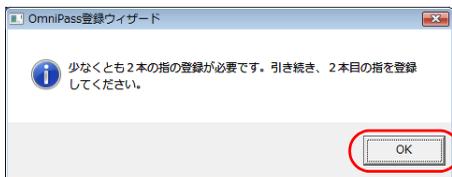
指紋センサーに指をスライドさせる方法を確認してください。スライドの方法については、「指のスライドのさせ方」(→ P.11) をご覧ください。

7 もう一度指紋センサーに指をスライドさせ、指紋の確認を行います。

8 「確認は成功しました」と表示されたら、「完了」をクリックします。

確認がうまくいかなかった場合には、🔄をクリックし、もう一度指紋の読み取りを行ってください。

- 9 「少なくとも 2 本の指の登録が必要です。引き続き、2 本目の指を登録してください。」というメッセージが表示されたら、「OK」をクリックします。



手順 5 の操作に戻り、2 本目の指の指紋を登録してください。

- 10 2 本目の指紋を登録したら、「完了」をクリックします。

「操作が完了するまでお待ちください…」というウィンドウが表示され、登録が完了するとウィンドウが閉じます。

これで指紋の登録は完了です。

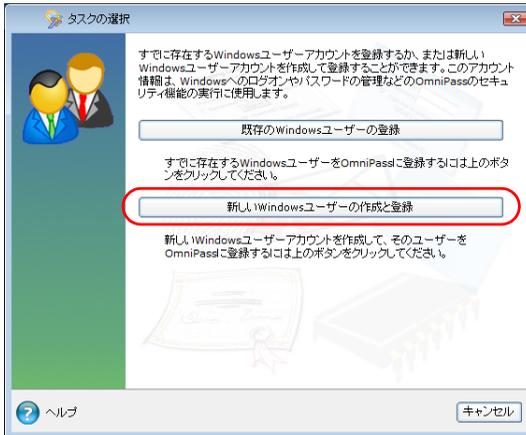
2 新規にユーザーを登録する

指紋情報は、Windows アカウントごとに登録します。新しく Windows アカウントを作成する場合は、OmniPass 上でパスワード等の設定と指紋の登録を同時に行うことができます。

重要

- ▶ 管理者権限を持ったユーザーとしてログオンしてください。
指紋認証に新しいユーザーを登録する場合は、管理者権限を持ったユーザーとして Windows にログオンしている必要があります。

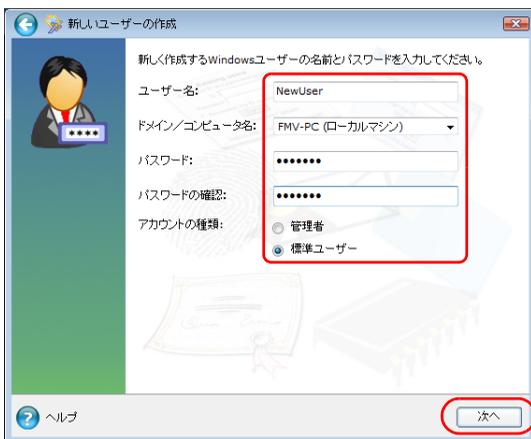
- 1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Softex」→「OmniPass 登録ウィザード」の順にクリックします。
- 2 「新しいユーザーの作成と登録」をクリックします。



(画面は状況により異なります)

- 3** 新しく追加するユーザーの名前を「ユーザー名」に、ログオンパスワードを「パスワード」および「パスワードの確認」に入力したら、アカウントの種類を選んで、「次へ」をクリックします。

ここで入力したユーザー名とパスワードで、新しいユーザーが追加されます。



- 4** 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、開始されるプログラムを確認して「続行」をクリックします。

- 5** 認証に使用する2指の指紋を登録します。
「既存ユーザーの指紋を登録する」手順5以降をご覧になり、指紋の登録を行ってください。

- 6** 「OmniPass は新しいユーザーの作成を完了しました。」というメッセージが表示されたら、「OK」をクリックします。

以上で、新しいユーザーの登録が完了しました。

3

第 3 章

指紋認証で Windows に ログオンする

Windows へのログオンに指紋認証を使用すると、ユーザー名とパスワードを入力する代わりに指紋センサーに指をスライドさせるだけでログオンすることができます。
この章では、指紋認証で Windows にログオンする方法について説明しています。

- 1 指紋認証で Windows にログオンする 24

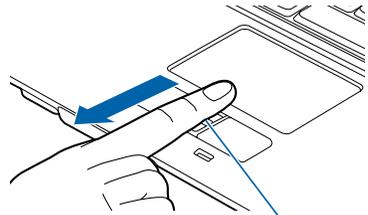
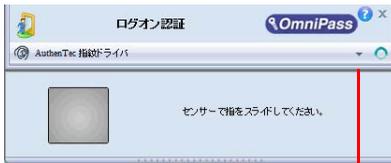
1 指紋認証で Windows にログオンする

1 電源ボタン (⏻) を押して、Windows を起動します。

Windows が起動すると「ログオン認証」画面が表示されます。

2 指紋登録した指のいずれかを指紋センサーにスライドさせます。

指紋の認証に成功すると、Windows にログオンします。認証画面が表示されていない場合は、 から「AuthenTec 指紋ドライバ」を選択して、認証画面を表示させてください。



指紋センサー

 をクリックしてメニューを表示し、「AuthenTec 指紋ドライバ」をクリックすると、認証画面が表示されます。また、認証ツールバーそのものが表示されていない場合は、ユーザーのアイコンをクリックするか、または「ユーザーの切り替え」ボタンをクリックしてログオン画面を切り替え、認証ツールバーを表示させてください。

(イラストは機種や状況により異なります)

POINT

- ▶ 指紋の読み取りがうまくいかない場合
指紋センサーに指をスライドさせる方法を確認してください。スライドの方法については、「指のスライドのさせ方」(→ P.11) をご覧ください。
- ▶ 指紋認証がうまくいかない場合は、 をクリックして「マスターパスワード認証」を選択し、Windows のログオンパスワードによる認証を行ってください。
- ▶ Windows のログオンパスワードを変更した場合
Windows のログオンパスワードを変更した場合は、指紋認証時に登録したパスワードも、新しいパスワードに変更する必要があります。
Windows のログオンパスワードを変更した後に指紋認証を行うと、「OmniPass-Windows パスワードの更新」ウィンドウが表示されます。
この画面で、「パスワード」および「パスワードの確認」に変更後の Windows のログオンパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。

4

第4章

指紋認証でホームページに ログインする

あらかじめログイン情報を登録しておくことで、セキュリティの設定されたホームページへのログインに指紋認証を使用することができます。

この章では、ホームページのログイン情報を OmniPass に登録する方法と、指紋認証でホームページにログインする方法について説明しています。

- | | |
|----------------------------|----|
| 1 ホームページのログイン情報を登録する | 26 |
| 2 指紋認証でホームページにログインする | 36 |

1 ホームページのログイン情報を登録する

指紋認証によるホームページへのログインを使用するには、次のどちらかの手順でホームページのログイン情報を登録します。

「ホームページ上でログイン情報を登録する」(→ P.26)

「パスワードウィザードでログイン情報を登録する」(→ P.30)

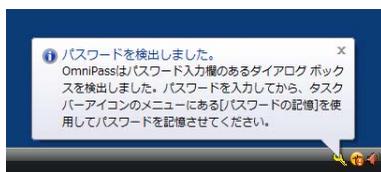
重要

- ▶ ホームページの種類によっては、指紋認証を使うためのログイン情報の登録ができない場合があります。

ホームページ上でログイン情報を登録する

1 ログイン情報を登録したいホームページを表示します。

指紋認証を使うためのログイン情報の登録ができるホームページでは、右下の画面通知領域に次のようなポップアップが表示されます。



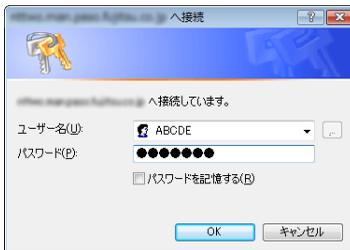
2 ログイン情報を入力します。

- ・ ホームページに直接入力するページの場合
「ログイン」などのボタンは押さないでください。



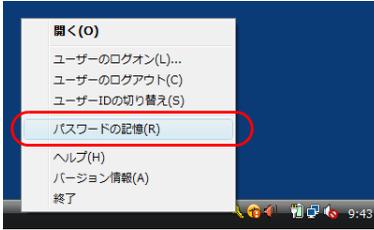
4

- ・ ログイン情報の入力専用画面が表示される場合
「OK」ボタンは押さないでください。



3 画面右下の通知領域にある **OmniPass アイコン** を右クリックし、表示されるメニューから「パスワードの記憶」をクリックします。

マウスポインタが  に変わります。



4  に変わったマウスポインタで、手順 2 で入力したログイン情報の領域をクリックします。

「OmniPass - 覚えやすい名前」ウィンドウが表示されます。

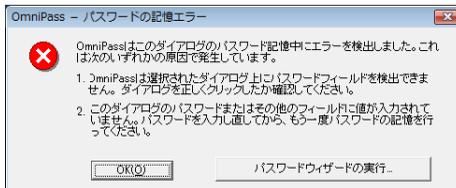
- ・ ホームページに直接入力するページの場合
ユーザー名やパスワードを入力した領域をクリックします。



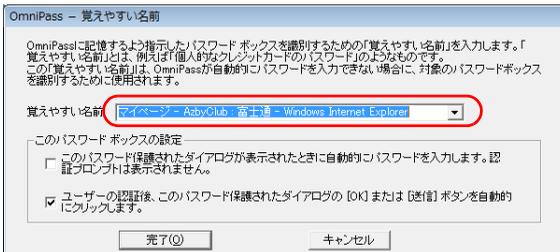
- ・ ログイン情報の入力専用画面が表示される場合
入力画面をクリックします。



- ・ 「OmniPass- パスワードの記憶エラー」ウィンドウが表示された場合
 - ・ 入力欄がすべて埋まっているでもこのウィンドウが表示された場合は、指紋認証機能がパスワードを検出できないことが考えられます。「パスワードウィザードの実行」をクリックし、パスワードウィザードによるログイン情報の登録を行ってください。
なお、操作手順は「パスワードウィザードでログイン情報を登録する」(→ P.30) の手順 5 以降をご覧ください。
 - ・ 入力欄に空欄がある場合は、「OK」をクリックし、手順 2 のログイン情報の入力からやり直してください。



5 「OmniPass - 覚えやすい名前」ウィンドウで、ログイン情報の名前を入力します。



6 「完了」をクリックします。

ログイン情報の登録が完了しました。ここで設定したホームページは、これ以降ユーザー名やパスワードを入力しなくても、登録済みの指紋を認証させるだけでログインできます。

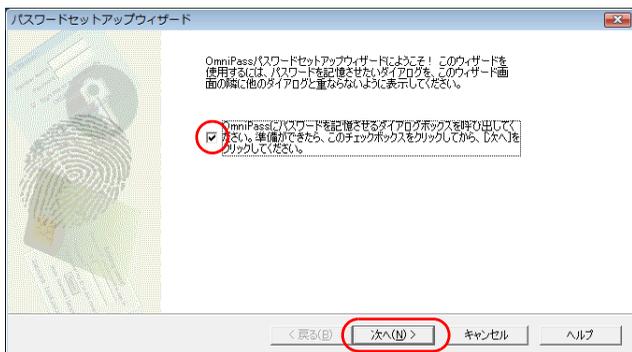
パスワードウィザードでログイン情報を登録する

ここではパスワードウィザードでの登録方法について説明をします。
パスワードウィザードはログイン情報の入力専用画面が表示された場合に使うことができます。

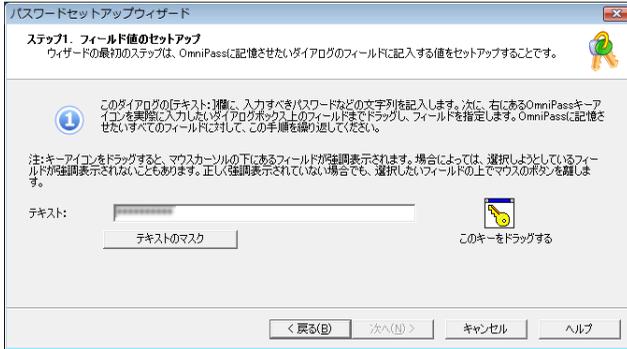
- 1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Softex」→「OmniPass
コントロールセンター」の順にクリックします。
「OmniPass コントロールセンター」ウィンドウが表示されます。
- 2 「アクション」の「パスワードウィザード」をクリックします。
「パスワードセットアップウィザード」が表示されます。



- 3 「OmniPass にパスワードを記憶させる…」の左の を にして、「次へ」をクリックします。

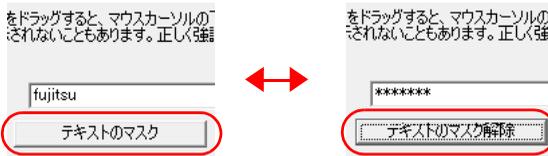


4 「テキスト」にログインさせたいID（ユーザー名）を入力します。

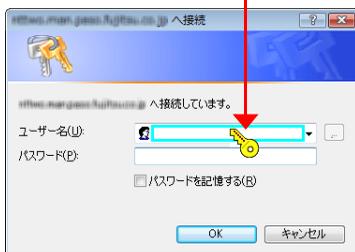
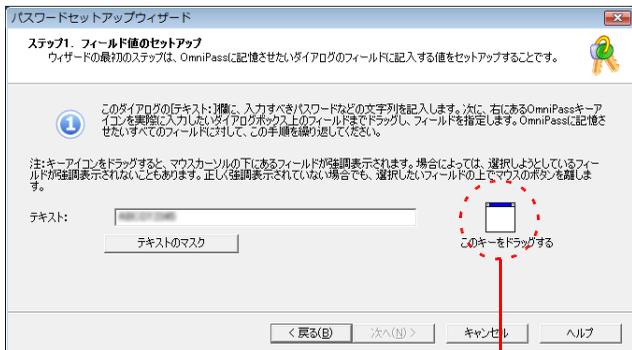


POINT

- ▶ 「テキストのマスク」をクリックすると入力中の文字が「*****」に変わり、ID（ユーザー名）やパスワードを第三者に見られることなく入力することができます。
- ▶ 「テキストのマスク解除」をクリックすると「*****」が元に戻り、入力中の文字を確認できます。

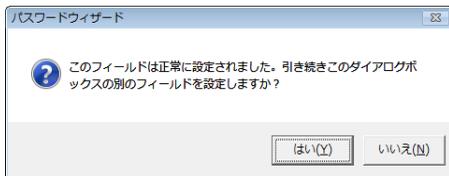


5 「このキーをドラッグ」のをログイン情報の入力専用画面の入力箇所までドラッグし、青枠が表示されたら左ボタンを離します。

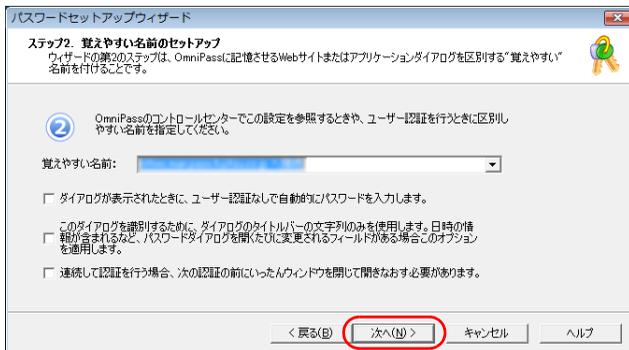


6 「このフィールドは正常に設定されました。...」というメッセージウィンドウが表示されます。

- 続いてパスワードの情報を設定する場合は「はい」をクリックして手順4に戻り、同様にパスワードの登録をします。
- すべての情報の登録が完了したら「いいえ」をクリックして手順7に進みます。



7 「覚えやすい名前」にログイン情報を区別するための名前を入力し、「次へ」をクリックします。

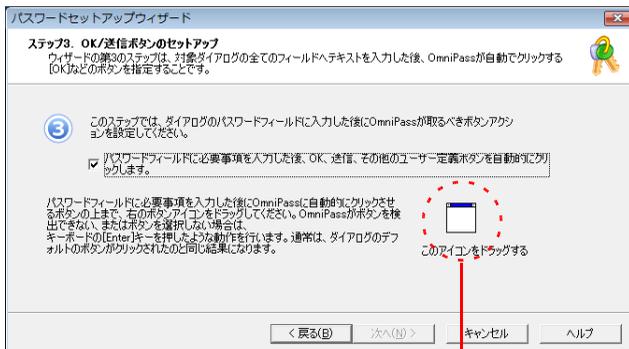


4

POINT

▶「ダイアログが表示されたときにユーザー認証なしで…」の左のをにすると、指紋認証を省略してパスワードを登録したホームページに自動的にログインすることができます。

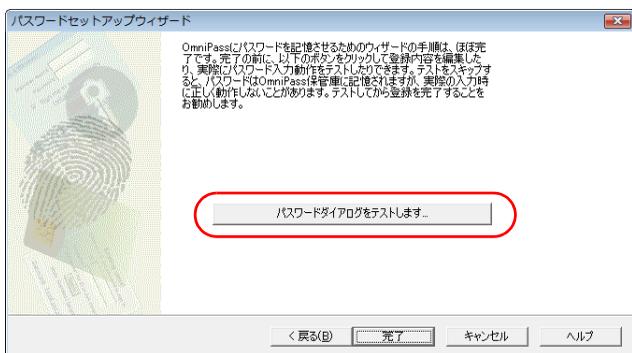
8 「このアイコンをドラッグする」のOKを「パスワード入力」ウィンドウの「OK」ボタンや「ログイン」ボタンまでドラッグし、青枠が表示されたら左ボタンを離します。



9 「次へ」をクリックします。

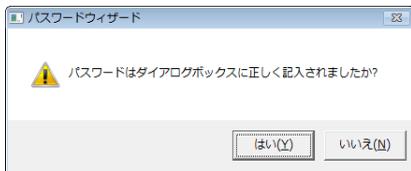


10 「パスワードダイアログをテストします」をクリックします。

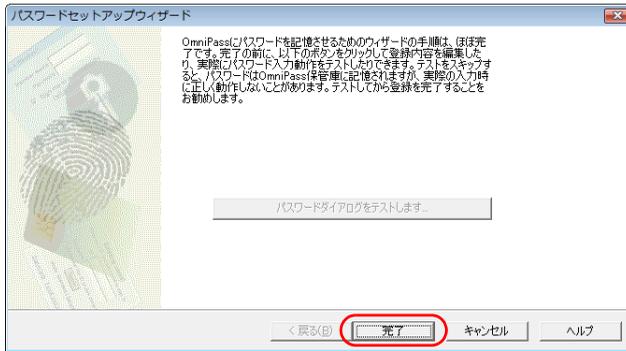


11 設定したパスワードなどが認証画面の入力欄に自動的に入力され、次のメッセージウィンドウが表示されます。正しければ「はい」をクリックします。

もし正しくなければ「いいえ」をクリックし、もう一度手順4からやり直します。



12 「完了」をクリックします。



ログイン情報が登録されました。

2 指紋認証でホームページにログインする

指紋認証を使うと、指紋センサーに指をスライドさせるだけで、セキュリティの設定がされているホームページにログインすることができます。

ホームページのログイン情報の登録方法については「ホームページ上でログイン情報を登録する」(→ P.26)をご覧ください。

1 ログイン情報が登録済みのホームページを表示させます。

「パスワードアクセスの認証」ウィンドウが表示されます。

2 指紋登録した指のいずれかを指紋センサーにスライドさせます。

指紋の認証が成功すると、自動的にホームページにログインします。



5

第 5 章

登録情報を管理する

指紋情報の追加や削除、ホームページのログイン情報の編集、登録情報のエクスポート／インポートなどについて説明しています。

1 「OmniPass コントロールセンター」について	38
2 指紋認証の登録情報を変更する	44
3 ホームページのログイン情報を管理する	50
4 登録情報のバックアップ／読み込み	52

1 「OmniPass コントロールセンター」について

指紋認証の設定は、「OmniPass コントロールセンター」で変更することができます。

「OmniPass コントロールセンター」の起動方法

「OmniPass コントロールセンター」は次の手順で起動します。

- 1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Softex」→「OmniPass コントロールセンター」の順にクリックします。
「OmniPass コントロールセンター」が起動します。



パスワードの管理

ホームページにログインするための情報を管理します。この設定画面を表示する場合は、すでに登録済みの指紋の認証を行います。

「指紋認証でホームページにログインする」(→ P.25)

■ パスワードの管理

指紋認証を使ってホームページへログインするためのユーザー名とパスワードを管理します。ログイン情報を変更するには、一度ログイン情報を削除して、再登録を行います。



■ ID の管理

指紋認証ユーティリティ (OmniPass) のユーザー ID を管理します。ホームページへログインするためのユーザー名とパスワードは、それぞれの ID に結びつけて管理されます。例えば、ユーザー ID を追加することで、同じホームページへログインするときに異なるユーザー名とパスワードを使い分けることができます。



ユーザー設定の変更

OmniPass のユーザーごとに変更可能な項目を設定します。

■ユーザーのサウンド設定の変更

指紋認証を使用するときパソコンから出る音についての設定をします。

■ユーザーに通知するタスクバーヒントの変更

パスワード情報のあるホームページを検出したときなどに、画面右下の通知領域にある OmniPass アイコン  に、メッセージを表示するための設定をします。

■認証ウィンドウ設定の変更

指紋認証を行う際に表示される認証ウィンドウの表示方法についての設定をします。



システム設定の変更

パソコン全体に共通の、OmniPassの動作を設定します。

■ OmniPass 起動オプションの変更

Windows にログオンした後に自動的に OmniPass を使用できるようにしたり、使用を停止したりすることができます。



登録ウィザードの実行



■ 新規ユーザーを OmniPass に追加

既存の Windows ユーザーの登録や、新規の Windows ユーザーの作成と登録を行うことができます。

「指紋を登録する」(→ P.13)

■ OmniPass からユーザーを削除

指紋認証を使うユーザーの削除を行うことができます。

「指紋認証の登録情報を削除する」(→ P.45)

■ OmniPass ユーザー情報のバックアップ

既に設定しているユーザー情報を保存することができます。

「登録情報をバックアップする」(→ P.52)

■ OmniPass ユーザー情報の復元

保存したユーザー情報を読み込むことができます。

「バックアップした登録情報を読み込む」(→ P.55)

■ ユーザーの認証デバイスの登録変更

認証に使用する指紋の追加登録や、登録済みの指紋の変更、再登録ができます。

「指紋認証の登録情報を変更する」(→ P.44)

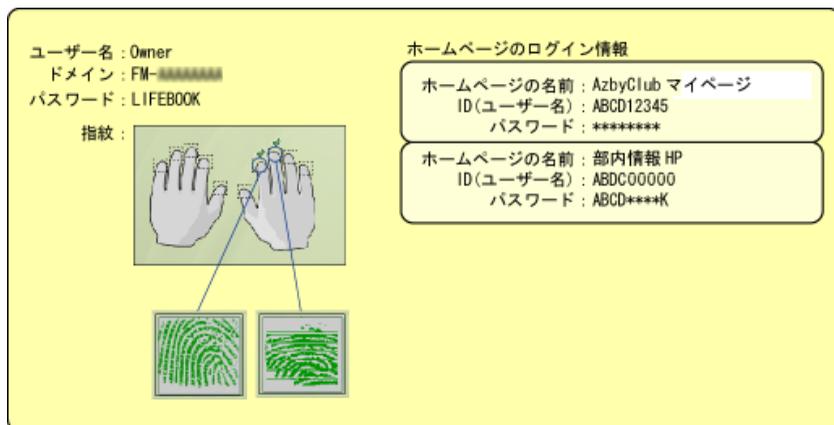
2 指紋認証の登録情報を変更する

指紋認証の登録情報の構成

登録情報は、次のような構成で設定されています。

指紋認証を使うためには、ご利用になる方の指紋をあらかじめ登録しておく必要があります。本パソコンに指紋を登録する方法については、「指紋を登録する」(→ P.13)をご覧ください。

指紋認証の登録情報 (ユーザー名やパスワードは例です)



- **ユーザー名**
指紋を登録したユーザーの名前です。Windows のユーザー名と同じ名前が使用されます。
- **ドメイン**
パソコンの所属するドメイン、またはフルコンピュータ名が表示されます。
- **指紋**
指紋が登録されています。
- **パスワード**
指紋を登録したユーザーのパスワードです。Windows にログオンするときと同じパスワードが使用されます。
- **ホームページのログイン情報**
ID (ユーザー名) やパスワードの入力を必要とするホームページを、指紋を認証させるだけで閲覧を可能にするために、あらかじめ ID (ユーザー名) やパスワードを登録しておきます。

指紋認証の登録情報を変更する

ここでは、指紋認証を使うために登録した情報を変更する方法について説明します。

- ・ **ユーザー名**

ユーザー名は変更できません。Windows のユーザー名と同じ名前が使用されます。

重要

▶ 指紋認証を使用するよう登録した Windows のユーザー名は、変更しないでください。

- ・ **パスワード**

Windows にログオンするときのパスワードを変更した場合は、指紋認証の登録情報に設定されているパスワードも、変更後の Windows のパスワードと同じものに変更する必要があります。Windows のパスワードを変更した後、Windows へのログオンやホームページへのログインのために初めて指紋認証を行った時に、警告メッセージが表示されるので、変更後のパスワードを登録してください。

- ・ **指紋**

指紋の登録を 10 本まで追加することができます。また、すでに登録済みの指紋を登録しなおすこともできます。ただし、登録済みの指紋を削除するには、指紋認証の登録情報をすべて削除し、再登録を行う必要があります。

- ・ **ホームページのログイン情報**

ホームページのログイン情報を変更する場合は、登録済みのログイン情報を削除し、再登録が必要になります。この場合は指紋認証の登録情報を削除する必要はありません。

5

指紋認証の登録情報を削除する

POINT

▶ 削除する前にユーザー情報をバックアップしておく、ユーザーを復活させる必要が生じた際に簡単に復活させることができます。

ユーザーの登録情報を削除するには、そのユーザーで OmniPass にログオンしている必要があります。

1 画面右下の通知領域にある **OmniPass アイコン**  を右クリックし、表示されるメニューから「ユーザーのログオン」をクリックします。

「ユーザーログオンの認証」ウィンドウが表示されます。



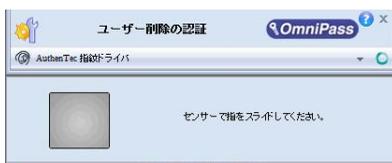
2 指紋登録した指のいずれかを指紋センサーにスライドさせます。

指紋センサーをお使いになる方へ

- 3 「OmniPass- ユーザーのログアウト」というメッセージウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックします。
表示されない場合は手順4に進みます。
- 4 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Softex」→「OmniPass コントロールセンター」の順にクリックします。
「OmniPass コントロールセンター」ウィンドウが表示されます。
- 5 「登録ウィザードの実行」をクリックします。
登録ウィザードメニューが表示されます。
- 6 「OmniPass からユーザーを削除」をクリックします。
「ログインユーザーの認証」ウィンドウが表示されます。



- 7 指紋登録した指のいずれかを指紋センサーにスライドさせます。
指紋の認証が成功すると、「ユーザー削除確認」ウィンドウが表示されます。



- 8 「OK」をクリックします。
「ユーザーは正常に削除されました」というメッセージが表示されます。

- 9 「OK」をクリックします。

指紋認証の登録情報が削除されました。「既存ユーザーの指紋を登録する」(→ P.14)をご覧になり、指紋認証情報の再登録を行ってください。

指紋認証の情報を登録する

指紋認証情報の登録方法については、「既存ユーザーの指紋を登録する」(→ P.14)をご覧ください。

指紋を追加登録する

- 1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Softex」→「OmniPassコントロールセンター」の順にクリックします。
「OmniPass コントロールセンター」ウィンドウが表示されます。
- 2 「登録ウィザードの実行」をクリックします。
登録ウィザードメニューが表示されます。
- 3 「ユーザーの認証デバイスの登録変更」をクリックします。
「認証デバイスの登録変更の認証」ウィンドウが表示されます。

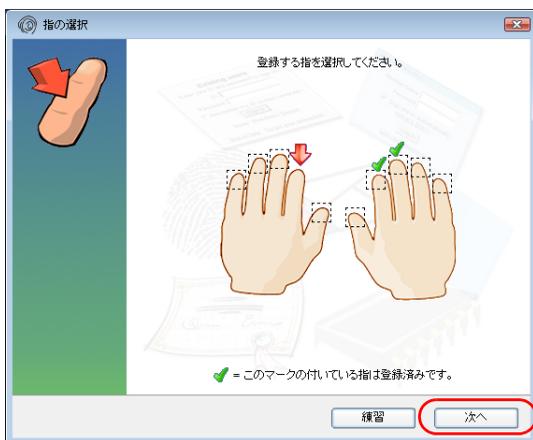


- 4 指紋登録した指のいずれかを指紋センサーにスライドさせます。
指紋の認証が成功すると、「指の選択」ウィンドウが表示されます。



5 指紋を追加、または登録しなおしたい指を選択して「次へ」をクリックします。

「指紋の取得」ウィンドウが表示されます。



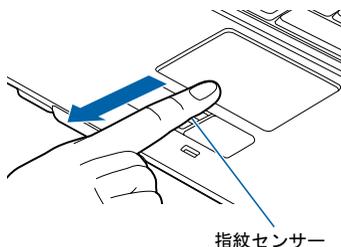
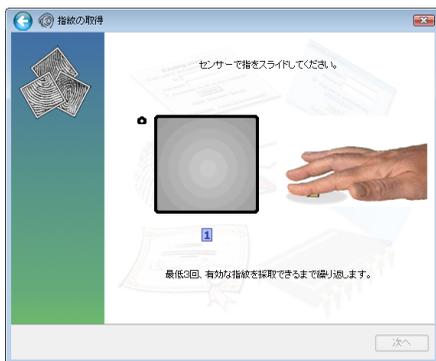
重要

すでに指紋登録してある指を選択して「指紋の取得」ウィンドウに進んだ後に「キャンセル」をクリックして登録作業を中断した場合、登録されていた指紋の情報は削除され、その指で指紋認証することができなくなります。指の選択を間違っても「指紋の取得」ウィンドウに進んだ場合は、「戻る」をクリックしてください。

6 指紋センサーに指をスライドさせ、指紋の採取を行います。画面の表示にしたがって指紋の読み取りを行ってください。

指紋が正常に読み取れた場合にはイラストが緑色に、読み取れなかった場合にはイラストが赤色に表示されます。

指紋の採取は最低 3 回行います。指紋を識別するのに十分な情報が採取できたら、「指紋の確認」ウィンドウが表示されます。



(画面は状況により異なります)

7 もう一度指紋センサーに指をスライドさせ、指紋の確認を行います。

8 「指紋の確認」が完了したら「完了」をクリックします。

以上で指紋の追加登録が完了しました。

3 ホームページのログイン情報を管理する

指紋認証を使ってホームページにログインするための情報は、次の画面で管理することができます。

- 1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Softex」→「OmniPass
コントロールセンター」の順にクリックします。
「OmniPass コントロールセンター」ウィンドウが表示されます。
- 2 「パスワードの管理」をクリックします。
「パスワードの管理アクセスの認証」ウィンドウが表示されます。



- 3 指紋登録した指のいずれかを指紋センサーにスライドさせます。
指紋の認証が成功すると、「パスワードの管理」ウィンドウが表示されます。



4 「パスワード保護されたダイアログ」にログイン情報が表示されます。

ログイン情報を変更するには、ログイン情報の再登録が必要となります。変更したいログイン情報名を選択して「ページの削除」をクリックし、ログイン情報を削除した後に再登録してください。



5 必要な操作が終了したら、「変更をすべて保存」をクリックします。

4 登録情報のバックアップ／読み込み

ユーザー名やパスワード、指紋やホームページのログイン情報など、一度登録した情報を、まとめてバックアップしておくことができます。登録情報を誤って削除してしまったときなどのために、バックアップをお勧めします。

登録情報をバックアップする

ユーザーの登録情報をバックアップするには、そのユーザーで OmniPass にログオンしている必要があります。

- 1 画面右下の通知領域にある **OmniPass アイコン**  を右クリックし、表示されるメニューから「ユーザーのログオン」をクリックします。
「ユーザーログオンの認証」ウィンドウが表示されます。



- 2 指紋登録した指のいずれかを指紋センサーにスライドさせます。
- 3 「OmniPass- ユーザーのログアウト」というメッセージウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックします。
表示されない場合は手順 4 に進みます。
- 4 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Softex」→「OmniPass コントロールセンター」の順にクリックします。
「OmniPass コントロールセンター」ウィンドウが表示されます。

5 「登録ウィザードの実行」をクリックします。



登録ウィザードメニューが表示されます。

6 「OmniPass ユーザー情報のバックアップ」をクリックします。

「プロフィールのバックアップの認証」ウィンドウが表示されます。



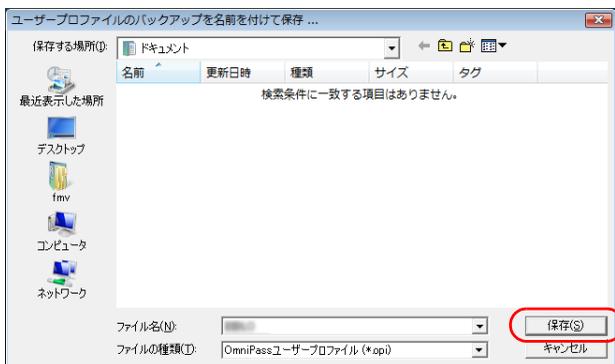
7 登録してある指紋で認証させます。

指紋の認証に成功すると、「ユーザープロフィールのバックアップを名前を付けて保存」ウィンドウが表示されます。



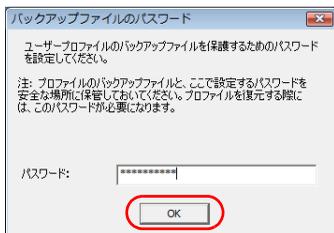
8 バックアップファイルの名前と保存場所を指定し、「保存」をクリックします。

「バックアップファイルのパスワード」ウィンドウが表示されます。



9 バックアップファイルに設定するパスワードを入力し、「OK」をクリックします。

「OmniPass- プロファイルのバックアップ成功」メッセージが表示されます。



POINT

- ▶ パスワードを設定しなくても登録することができます。その場合は、「パスワード」は空欄のまま「OK」をクリックします。

10 「OK」をクリックします。

以上でユーザー情報のバックアップが完了しました。

重要

- ▶ バックアップファイルに設定したパスワードは、忘れないようにしてください。バックアップファイルを使用してユーザー登録情報を復元するときに、このパスワードが必要になります。

バックアップした登録情報を読み込む

バックアップしたユーザーの登録情報を読み込むには、そのユーザー情報の読み込み先となる Windows のユーザーが必要です。

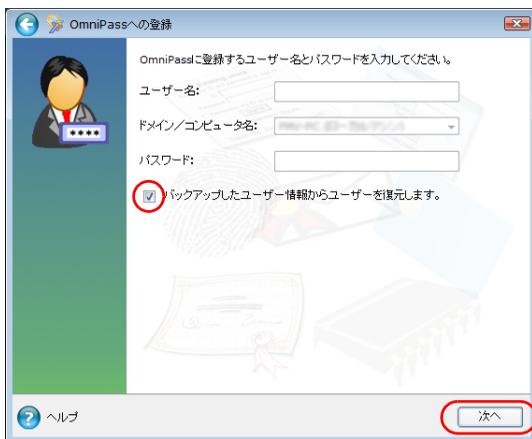
この Windows のユーザーは、まだ OmniPass に登録されていないユーザーである必要があります。OmniPass に登録済みの Windows ユーザーに重複してユーザー登録情報を読み込むことはできません。

- 1 **OmniPass に登録されていないユーザーで Windows にログオンします。**
- 2 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Softex」→「OmniPass 登録ウィザード」の順にクリックします。
- 3 「既存の Windows ユーザーの登録」をクリックします。
「OmniPass への登録」ウィンドウが表示されます。



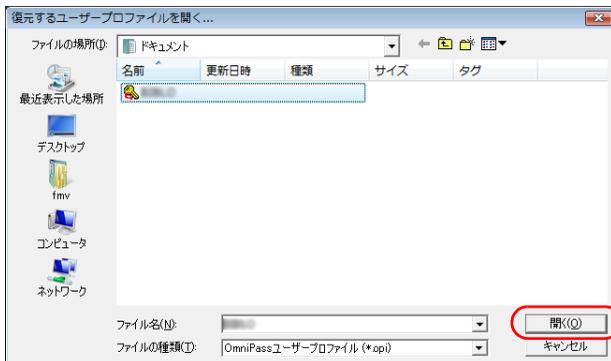
4 「バックアップしたユーザー情報からユーザーを復元します」の をクリックして にし、「次へ」をクリックします。

「復元するユーザープロフィールを開く」ウィンドウが表示されます。



5 保存してある登録情報を選択し、「開く」をクリックします。

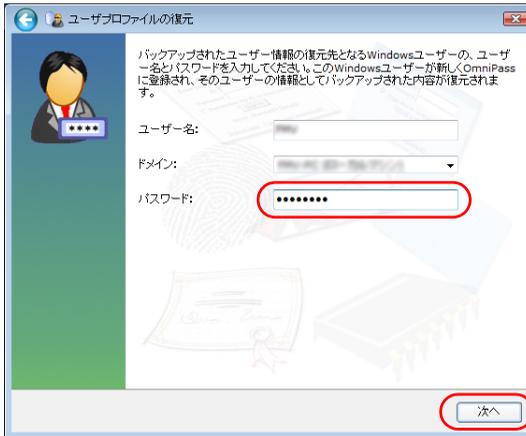
「バックアップファイルのパスワード」ウィンドウが表示されます。



6 バックアップファイルのパスワードを入力し、「OK」をクリックします。



- 7 「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、「次へ」をクリックします。**
「ユーザー名」と「パスワード」には、読み込み先のユーザーの Windows ユーザー名とログインパスワードを入力してください。
「OmniPass はユーザーの復元処理を完了しました。」というメッセージが表示されます。



- 8 「OK」をクリックします。**



- 9 パソコンを再起動します。**
パソコンを再起動することにより、読み込んだ（インポートした）登録情報が有効になります。

6

第6章

困ったときには

指紋認証機能の使用に際して問題が発生した場合の対処方法と、ソフトウェアの再インストール方法などについて説明しています。

- | | |
|-------------------------------------|----|
| 1 困ったときには | 60 |
| 2 ソフトウェアのアンインストール／再インストールについて | 64 |

1 困ったときには

指紋認証機能のご使用に際して何か困ったことが起きた場合は、本章に記載されている内容をお調べください。エラーメッセージが表示された場合の対処方法やお客様からお問い合わせの多いトラブルに関する症状、原因、対処方法を記載しています。

問題が解決できない場合は、ご購入元にご確認いただくか、故障・修理に関するお問い合わせ先（→『取扱説明書』）にご相談ください。

指紋認証全般

症状	原因	対処	参照先
指紋の認証画面が表示されない	以下のような場合に非表示になります。 ・「AuthenTec 指紋ドライバ」の「自動開始に設定」のチェックが外れている ・アプリや OS の設定が変更された	 をクリックしてプルダウンメニューを表示し、「AuthenTec 指紋ドライバ」の  をクリックして  にしてください。	「指紋認証で Windows にログオンする」(→ P.24) 「指紋認証でホームページにログインする」(→ P.36)
	指紋センサーが認識されていない	指紋センサーの状態をデバイスマネージャで確認してください。	—
入力した指紋が赤色で表示される	指紋の読み取りに失敗した	指のスライドのさせかたが正しいか、指紋センサーに傷や汚れが付いていないか確認してください	「指のスライドのさせ方」(→ P.11) 「指紋センサーの清掃について」(→ P.10)
	・登録されている指紋情報が不足している ・現在の指紋の状態が、登録時から大きく変化している	パスワード入力で Windows にログオンし、指紋情報を再登録してください。	「指紋認証で Windows にログオンする」(→ P.24) 「指紋を追加登録する」(→ P.47)
	OmniPass にユーザー情報が正しく登録されていない、または破損している	ユーザー情報の再登録を行ってください	「指紋認証の登録情報を変更する」(→ P.44)
指紋入力画面は表示されているが、指をスライドしても反応がない	指紋センサーの初期化に失敗した	一度 OmniPass ツールバーの右上にある  をクリックして認証画面を閉じ、再度認証画面を表示させてください。	—

Windows ログオン時

症状	原因	対処	参照先
別のアプリケーションまたはドライバをインストールしたら、指紋認証で Windows にログオンできなくなった	新たにインストールしたアプリケーション/ドライバが OmniPass と競合している	新たにインストールしたアプリケーションやドライバをアンインストールして、もう一度ご確認ください。一部のネットワークドライバやセキュリティアプリケーションには、Windows のログオン処理を変更するものがあります。	—
Windows 起動時に、指紋認証の画面が表示されずにデスクトップまで進んでしまう	Windows のログオンパスワードを設定していない	Windows のログオンパスワードを設定してください。 Windows では、パソコンに登録されているユーザーが一人のみ、かつパスワードが設定されていない場合、常にそのユーザーが使用するものとしてログオン認証を省略してしまいます。	「Windows のログオンパスワードを設定する」(→P.14)
「OmniPass - ログオンエラー」または「OmniPass - パスワードの更新」というメッセージが表示される	Windows のログオンパスワードが変更されている	表示された入力画面で、変更後のパスワードを OmniPass に登録してください。	「指紋認証の登録後情報を更新する」(→ P.44)
以前はログオンできていたアカウントが、指紋認証でログオンできなくなった	使用していたユーザーアカウントがシステム管理者によって停止された	システム管理者に確認してください。	—
指紋認証の設定をしていないのに、Windows へのログオン時やスタンバイからの復帰時に認証画面が表示される	本パソコンには、お買い上げ時の状態で指紋認証ソフト「OmniPass」がインストールされています。OmniPass がインストールされている場合、ようこそ画面など Windows のログオン認証が必要な場面になると、指紋認証の設定を行っていても認証画面が表示されます。	指紋認証の設定を行っていない場合は指紋を入力する必要はありませんので、通常の Windows のユーザー名とパスワードの入力によるログオンを行ってください。	—

症状	原因	対処	参照先
複数のユーザーの指紋を登録している場合に、ようこそ画面でクリックして選択したユーザーとは違うユーザーでログオンしてしまう	OmniPass は、入力された指紋のみでユーザーを特定します。 この際、ようこそ画面でユーザーが選択されていても関知しません。 一人の人が複数の Windows アカウントを使い分ける場合に、同じ指の指紋が登録されていると区別が付きにくいユーザーでログオンしてしまう場合があります。	複数の Windows アカウントを使い分ける場合は、アカウントごとに違う指の指紋を登録してください。	—

ユーザー登録時

症状	原因	対処	参照先
ユーザー名・パスワードの登録画面で、ログオンしているユーザー名とは違うユーザー名が表示される	Windows では、コントロールパネルからユーザー名を変更しても、内部的には最初に作成したときのユーザー名で処理を行っています。OmniPass ではこの内部処理用のユーザー名を使用するため、ユーザー名の変更を行った場合、このような状況になります。	そのまま変更前のユーザー名でご使用いただくか、使用したいユーザー名で新しくユーザーを作成してください。	「既存ユーザーの指紋を登録する」(→ P.14) 「新規にユーザーを登録する」(→ P.21)
OmniPass 登録ウィザードでユーザー登録しようとする、そのユーザーはすでに存在しているというエラーが表示される	既に OmniPass にユーザー情報が登録されている	ユーザー情報を変更するには、一度ユーザーを削除して再登録してください。	「指紋認証の登録情報を変更する」(→ P.45)

ホームページのログイン情報登録時

症状	原因	対処	参照先
「パスワードの記憶」でホームページを登録しようとすると「OmniPass-パスワードの記憶エラー」が表示される	登録しようとしている画面にログイン情報が入力されていない	パスワードなどのログイン情報をそれぞれの入力欄に入力してから、再度「パスワードの記憶」を行ってください。	「ホームページ上でログイン情報を登録する」(→P.26)
	ログイン画面が「パスワードの記憶」では入力欄を検出できない構成になっている	「パスワードウィザードの実行」をクリックし、パスワードウィザードから登録を行ってください。	「パスワードウィザードでログイン情報を登録する」(→ P.30)
「パスワードウィザード」でパスワードの登録ができない	ログイン画面が「パスワードウィザード」では入力欄を検出できない構成になっている	ログイン情報を入力し、「パスワードの記憶」から登録を行ってください。	「ホームページ上でログイン情報を登録する」(→P.26)
以前は入力できていたホームページのパスワードが、入力できなくなった	半角 / 全角モード、CapsLock、Num キーなどの設定が登録時と異なっている	文字の入力モード (半角 / 全角、CapsLock、Num キー) を確認してください。	—

6

ホームページでのログイン時

症状	原因	対処	参照先
Windows へのログオンは指紋認証で行えるのに、登録したホームページでは認証画面が表示されない	「起動オプション」の「現在の Windows ユーザーで OmniPass に自動ログオンする」がチェックされていない	「OmniPassコントロールセンター」の「システム設定の変更」を開き、「現在の WindowsユーザーでOmniPass に自動ログオンする」をチェックしてください。	「OmniPass コントロールセンター」について(→P.38)
	スタートアップの項目から「scureapp」が外れている	MSConfig を使用して、Windows の起動時に「scureapp」が自動実行されるようスタートアップの設定を有効にしてください。	—
指紋認証を行うと ID やパスワードは入力されるが、自動的にログインしない	ログインボタンを OmniPass が検出できない構成になっている	ログイン情報が入力されたら、手でログインボタンをクリックしてログインしてください。	—

2 ソフトウェアのアンインストール／再インストールについて

OmniPass をアンインストールする

重要

- ▶ OmniPassのアンインストールを行うときは、管理者権限を持ったユーザーとしてログオンしてください。

POINT

- ▶ アンインストール後に再度 OmniPass をインストールして使用する場合、アンインストールの前に OmniPass のユーザー情報をエクスポートしておく、インストール後にインポートすることで以前の環境を復元することができます。

- 1 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」の順にクリックします。
- 2 「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をクリックします。
「プログラムと機能」ウィンドウが開きます。
- 3 一覧から「OmniPass」をクリックします。
- 4 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、開始されるプログラムを確認し、「続行」をクリックします。
「Softex OmniPass のアンインストール」ウィンドウが開きます。
- 5 「次へ」をクリックします。
- 6 「Softex OmniPass を完全にシステムから削除してもよいですか？」という確認メッセージが表示されたら、「はい」をクリックします。
- 7 「メンテナンスの完了」が表示されたら、「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」が になっていることを確認し、「完了」をクリックします。
- 8 パソコンが再起動します。

以上で、アンインストールは完了です。

OmniPass をインストールする

本パソコンには、お買い上げ時の状態で指紋認証ユーティリティ「OmniPass」がインストールされています。一度アンインストールした後に再度 OmniPass をインストールする場合は、次の手順にしたがってください。

重要

▶ OmniPass のインストールを行うときは、管理者権限を持ったユーザーとしてログオンしてください。

- 1 「ドライバズディスク」を本パソコンの CD/DVD ドライブにセットします。
- 2 「スタート」ボタンをクリックし、検索ボックスに次のように入力して「OK」をクリックします。
[CD/DVD ドライブ]:¥Security¥OmniPass¥setup.exe
- 3 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、開始されるプログラマを確認し、「続行」をクリックします。
「セットアップの準備」が表示されます。
- 4 「OmniPass セットアップへようこそ」が表示されたら、「次へ」をクリックします。
- 5 「使用許諾契約」が表示されたら、内容を確認し、「はい」をクリックします。
- 6 「インストール先の選択」が表示されたら、「次へ」をクリックします。
「セットアップ ステータス」が表示されます。
- 7 「InstallShield Wizard の完了」が表示されたら、「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」が になっていることを確認し、「完了」をクリックします。
- 8 パソコンが再起動します。

以上で、インストールは完了です。

POINT

- ▶ 以前に OmniPass を使用していて、アンインストール前にエクスポートしたユーザー情報がある場合は、ユーザー情報をインポートすることでアンインストール前の登録情報を復元することができます。
「バックアップした登録情報を読み込む」(→ P.55)

**FMV バリュースシリーズ
指紋センサーをお使いになる方へ**

B5FJ-2391-01 Z2-00

発行日 2007年1月
発行責任 富士通株式会社

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。